

エアライン・トレーニング・スタディ（夏期）

| | |
|-----------|--|
| プログラム区分 | 海外実習 |
| 主幹部署 | 現代国際学部 |
| 研修先国・地域名 | マレーシア・ペタリンジャヤ |
| 研修先 | マレーシア航空(MAB)アカデミー |
| プログラム概要 | <p>クアラルンプール近郊にあるマレーシア航空研修センターにて 6 日間の客室乗務員（CA）研修を体験します。プログラムの内容は、CA に必要とされる会話力を英語の授業で学び、緊急時対応の実地訓練、そしてマレーシア航空（MH）の基準に即したメイクとヘアスタイルを習い、制服を着用して立ち居振る舞いや機内サービスのレッスンへと進みます。MH の現役ベテラン日本人 CA が全ての指揮を執り、中身の濃い研修を経験します。宿泊はホテルとなり、マレーシア滞在中はイスラム文化を通して、異文化を学ぶこともできます。</p> |
| 日程 | 出発予定時期：2024 年 8 月下旬 期間：約 10 日間 |
| 単位認定 | エアライン・トレーニング・スタディ B 2 単位 |
| 他学科生の受入れ | 可 受入れ可の他学科：全学科 |
| 語学研修の有無 | 無 |
| 語学研修以外の内容 | 有 |
| 問い合わせ先 | 現代国際学部 |
| その他 | |

体験記

エアライン・トレーニング・スタディ（夏期）に参加して

氏名：伊東佳栄（2023 年度参加）

本文：

今回の研修参加を通して、お客様が飛行機を使って移動をするとき、無事に目的地までお送りすることが客室乗務員にとって最も大切なことであり、さらにいかに狭い空間で空の旅をいかに快適に楽しんでもらえるかも大切であると感じました。

客室乗務員はサービス要員としてのイメージが世間的には強いですが、緊急時の訓練体験を行うことによって、お客様の安全そして命を預かる責任のある保安要員としての役割の重要性を痛感しました。

アカデミーで6日間お世話になりましたが、社員の方々はいつでも笑顔が素敵で親切で人への心配りをとても感じ、とても素敵な人ばかりでした。エアライン業界を志望するにあたって、やはり仕事ができるかどうかはもちろんですが、人となりの大切さも学びました。マレーシア航空で実際に仕事に取り組む方々を身近に感じることができた大変貴重な機会でした。

客室乗務員だけではなく、エアライン業界全体に理解につながり、これから仕事を選び会社に入っていく中で、自分のやりたいこと、やりがいに感じることを重要視し進路を決めていきたいと強く感じました。興味のある方は是非参加してみてください！

